

小 集 会

1. 第6回栽培系・環境制御系融合型施設園芸研究

日時： 9月14日(土) 13:20～15:20
場所： 教養講義室棟1号館101教室
世話人： 富士原和宏(東京大院農学生命科学研究科)
内容：

1. 「太陽電池を屋根面に装着した温室の研究事例紹介」

島根大 谷野 章

2. 「農研機構が目指す農業情報研究 ―農業データ連携基盤の構築と農業AI研究の推進―」

農研機構農業情報研セ 齋藤岳士

3. テーマ別フリーディスカッション(当日会場で希望テーマを募り, 4～5テーマを設定)

農研機構野菜花き部門 岩崎泰永・道園美弦, 岐阜大 嶋津光鑑

2. 第28回日本イチゴフォーラム

日時： 9月14日(土) 15:30～17:30
場所： 教養講義室棟1号館101教室
(第6回栽培系・環境制御系融合型施設園芸研究が終了後, 同会場で引き続き開催)
世話人： 野口裕司(農研機構野菜花き部門)
内容：

- 「島根県におけるイチゴ生産の課題と研究開発について」

島根農技セ 金森 健一

- 「収穫体験型観光農園におけるイチゴ栽培(イチゴ狩り)について」

農研機構西日本農研 遠藤(飛川)みのり

3. アジサイ研究小集会

日時： 9月14日(土) 14:00～17:30
場所： 教養講義室棟1号館102教室
世話人： 奈島賢児(日本大生物資源科学部)
内容：

- 「栃木県農業試験場におけるアジサイ育種」

栃木農試 中澤佳子

- 「島根県農業技術センターにおけるアジサイ育種」

島根農技セ 杉山万里

- 「アジサイのゲノム解読」

(公財)かずさDNA研 白澤健太

- 「八重咲き・手まり咲き遺伝子同定の試み」

日本大生物資源科学部 奈島賢児

4. アスパラガス研究小集会

日時： 9月14日(土) 15:00～17:00
場所： 教養講義室棟1号館201教室
世話人： 柳井洋介(農研機構野菜花き部門)
内容：

- 島根県におけるアスパラガス生産の現状と研究

島根農技セ 椋 重芳

- トルコにおけるアスパラガス栽培の現状と課題

岩手農研セ 山口貴之

地上部および地下部の温度条件がアスパラガスの萌芽に及ぼす影響

農研機構九州農研 渡辺慎一

5. 次世代園芸学を拓く分野横断研究(第1回)

日時: 9月14日(土) 15:00~18:00

場所: 教養講義室棟1号館202教室

世話人: 赤木剛士(岡山大院環境生命科学研究科)

内容:

画像情報学と深層学習(ディープラーニング)の現状

九州大院システム情報科学研究院 内田誠一

顕微操作とイメージングで迫る植物受精過程の細胞間相互作用

名古屋大院理学研究科 金岡雅浩

生物の進化とDNAの重複

理研 iTHEMS Jeffrey Fawcett

6. 第13回伝統園芸研究会

日時: 9月14日(土) 15:00~18:00

場所: 教養講義室棟1号館301教室

世話人: 田中孝幸(東海大名誉教授)

内容:

基調講演1: サクラソウにおける栽培の歴史と花冠着色に関わる遺伝子の解析

日本大生物資源科学部 水田大輝

(概要) サクラソウ(*Primula sieboldii* E. Morren)はサクラソウ科サクラソウ属の多年草で、日本国内だと沖縄・四国を除く北海道から九州まで幅広く自生しており、春先には可憐なピンク色の花を咲かせます。今回は、サクラソウが文献に残る室町時代から園芸品種が登場する江戸時代中期までを、サクラソウが人どのようにに関わり、楽しまれてきたのか紹介します。また、園芸品種の出現で多様化した花色や模様の機構解明を目的として、まずは着色に関わる色素合成関連遺伝子の解析で分かってきたことを紹介します。

基調講演2: カキ果実の貯蔵特性と産業への展開

島根大名誉教授 板村裕之

(概要) カキ果実の貯蔵特性を熟期とエチレン生成との関係から紹介し、最近手掛けた西条柿の貯蔵性を高めた輸出プロジェクトや、タンニンを中心とする機能性を生かした産業への応用例などを話題としたい。

基調講演3: 国産榊復活にむけて

宇田花づくり研 宇田 明

(概要) 古来より、地域の伝統文化、風習としてサカキ、ヒサカキを神棚、仏壇にお供えしてきました。それらは自給自足的、地産地消的な商品として山採りが多かったのですが、現在ではその90%以上が中国からの輸入で、国産は風前の灯火です。神様、仏様、ご先祖様に国産のサカキ、ヒサカキをお供えするために、国産復活の方策を考えます。

7. 花卉の細胞育種研究会

日時: 9月14日(土) 16:00~17:30

場所: 教養講義室棟2号館401教室

世話人: 三吉一光(千葉大院園芸学研究科)

内容:

「花卉の遺伝資源調査、収集、保存、活用に関する諸問題」

千葉大 三位正洋

(概要) 花卉は多種多様な植物を対象としており、常に新たな鑑賞価値を持った植物種や品種の登場が期待されている。このような条件を満たすためには、常に新たな遺伝資源の探索調査、合法的かつ効率の良い収集、確実な保存方法の開発とその実行体制の確立、そして増殖と育種を通じた効率よい活用に関する

研究開発が不可欠である。ここではこれらの諸問題に関する私見を述べてみたい。

8. 第8回結球性野菜研究会

日時： 9月14日(土) 16:00～18:00

場所： 教養講義室棟2号館404教室

世話人： 小林尚司(兵庫農技総セ)

内容：

「兵庫県淡路島におけるドローンを活用した冬穫りレタスの生育出荷予測」

兵庫農技総セ淡路農技セ 中野伸一

「生育予測を活用したスマートフードチェーン構築に向けて～SIP2期での取組みについて～」

農研機構野菜花き部門 岡田邦彦

9. 第25回ネギ類研究小集会

日時： 9月14日(土) 16:00～18:00

場所： 教養講義室棟2号館501教室

世話人： 塚崎 光(農研機構東北農研)

内容：

「香川県における加工業務用葉ねぎ栽培の省力化・スマート農業への取組みについて」

香川農業革新支援セ 松崎朝浩

「2019 International Allium Conference の報告」

山口大院創成科学研究科 執行正義

「野菜花き課題別研究会の案内」

農研機構野菜花き部門 山田朋宏

10. 小果樹研究会

日時： 9月14日(土) 17:00～19:00

場所： 教養講義室棟2号館504教室

世話人： 今西弘幸(秋田県立大生物資源科学部)

内容：

「国産ラズベリーのクリスマス出荷を目指した栽培および輸送法の確立」

東京農大(現 清田産業(株)) 木村一貴

11. 「ニホンナシをつくりこなす」小集会

日時： 9月16日(月) 14:50～17:00

場所： 教養講義室棟2号館601教室

世話人： 池田隆政(鳥取農業大学校)

内容：

1. 鳥取県のナシ栽培の歴史と育種・品種選択について

鳥取大農学部 田村文男

2. 新品種の普及に必要な試験研究について(鳥取県の事例をもとに)

鳥取農業大学校 池田隆政

3. 農研機構果茶研究部門におけるナシ品種育成について

農研機構果樹茶部門 齊藤寿広

4. ニホンナシ新品種の試食